

# 子育て支援センター「ぷっこ」だより

～☆☆明るく元気な子にそだちますように☆☆～

☎52-2315

子育て支援センター ☎090-5985-4339

寒さが厳しい季節がやってきました。これからはインフルエンザや胃腸炎など感染症が多くなる季節です。お部屋の加湿や、手洗い・うがいの励行など、まずは予防を心がけましょう。もしかかってしまっても、重症化しないように早めに受診し水分と栄養、休息を十分にとりましょう。

## ☆1歳ぷっこ☆

10月15日（水）に秋を探しに行こうと、保育所の園庭で赤や黄色のカエデやナナカマド、どんぐりなどを拾いました。日差しがぽかぽかと暖かく感じられる中、子どもたちは元気いっぱい走り回っていました。

外で思い切り身体を動かした後は、拾った落ち葉を画用紙に張り付けて作品作り。みんな上手にのりやマジックを使い、かわいい作品の出来上がり。



## ☆ぷっこクラブ☆

10月26日（日）に幾寅保育所のお遊戯会がみなくで開催されました。小さなお友達はアンパンマンやカレーパンマンなどになりきって踊り、お兄さんお姉さんは鬼のパンツ。強くてかわいい鬼さんになりました。お母さんも子どもに負けたくないくらい、かわいく踊ってくれました。参加していただいたみなさんありがとうございます。



## 保育所の元気な子どもたち

### 幾寅保育所

「お遊戯会も終わりのんびりとお友達との遊びを満喫し、運動の秋、食欲の秋を楽しんでいます。たくさん動いた後は、おいしい給食に舌づつみ、あつというまにお血はきれいになっています。（みんな大きく大きくなーれ！）」



### 金山保育所

10月18日（土）にお遊戯会をおこないました。素敵なお衣装を身につけて1ヶ月近い練習の成果をパッチリ披露していました。お父さん、お母さんの出し物ものも大盛り上がりで、アットホームなお遊戯会でした。



こんにちは  
**保健師**です！

保健福祉課保健指導係

☎52-2211



世界エイズデー

# 12月1日は「世界エイズデー」です！！

WHO（世界保健機関）は、1988年に世界的レベルでエイズまん延防止と患者感染者に対する差別・偏見の解消を図ることを目的として、12月1日を「World AIDS Day」（世界エイズデー）と定めています。

エイズは、「他人事」「恐ろしい病気」と思いがちですが、患者数は増えており、決して他人事ではない病気になりつつあります。また、医療の進歩により早期発見・早期治療をすれば、長い期間、健常時と変わらない生活を送ることができるようになってきました。エイズについて、少しでも理解し、偏見・差別のない社会にしていかなければなりません。

## エイズとは

HIV（ヒト免疫不全ウイルス）に感染した結果、ヒトの体の中でHIVが増殖し、免疫が低下し、さまざまな病気を発症します。この病気をエイズ（後天性免疫不全症候群）と言います。

代表的な23の疾患が決められており、これらを発症した時点でエイズと診断されます。

HIVの主な感染経路は、「性的感染」「血液感染」「母子感染」です。

HIV感染後は、数年～10年以上の無症候期（症状がない時期）が続く場合がありますが、短期間のうちにエイズを発症する人もいます。

## 日本のHIV感染者・エイズ患者の動向

日本では、1985年に初めてエイズ患者が確認されて以来、HIV感染者・エイズ患者ともに増加し続けています。2013年の1年間における新規HIV感染者報告数は、1,106件（過去2位）、感染に気づかず、エイズを発症して報告された新規エイズ患者報告数は484件（過去最多）でした。

合計数は1,590件（過去最多）で、新規HIV感染者および新規エイズ患者の累計報告数は、23,000件を超えているとともに、最近では地域的・年齢的にも広がりを見せています。

## エイズ検査・相談の基礎知識

エイズ検査は全国の保健所で無料、匿名で受けることができます。

エイズの原因になるHIVに感染しているかどうかを血液検査にて調べることができます。

感染をしてもすぐに陽性にならないため、感染の可能性のある機会があつてから3か月以上たつてから検査を受けることをお勧めします。また、もしわからないことなどがあれば、検査を受ける前に相談機関（エイズ予防財団 無料電話相談0120-177-812）や富良野保健所（☎23-3161）に相談することをお勧めします。

## エイズの早期発見と治療について

治療法の進歩により、HIVに感染しても、エイズの発症を防ぐことで、長期間にわたり、健常時と変わらない日常生活を送ることができます。早期に発見し、定期的な医療機関への受診により最適な時期に治療を始めることが大切です。